

ポリマーの生分解性評価と 生分解性ポリマーの高性能化・高機能化

1名分料金で
2人目無料

- ◆日時:【LIVE受講】2026年2月24日(火) 10:30~16:30
【アーカイブ受講】2026年2月26日(木)~3月5日(木)
- ◆形式:ZoomによるWEB配信
- ◆聴講料:1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき38,500円
- ・2名同時でお申込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円)

詳細はHPにて ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/2602119>

●講師:京都工芸繊維大学 バイオベースマテリアル学専攻 教授 博士(工学) 櫻井 伸一 氏

《受講対象》

生分解性ポリマーに興味のある研究者・開発者・技術者ならどなたでも受講可。

《講座の趣旨》

以前から、深刻な海洋汚染を引き起こすマイクロプラスチックの問題が大きくクローズアップされ、衆目を集めている。この問題を解決するための処方の一つとして、生分解性ポリマーが再び脚光を浴びている。本講では、生分解性ポリマーとはどのようなものであり、どのようなプロセスを経て分解されるか、また生分解性の評価などの項目について、基礎を解説する。

《習得できる知識》

- ・ポリマー材料廃棄の国内外の状況
- ・ポリマーの生分解プロセス(酵素分解、自然環境中での分解など)
- ・ポリマーの生分解評価
- ・生分解性ポリマーの特徴
- ・具体的な生分解性ポリマー(ポリアミド4、ポリカプロラクトン、ポリ乳酸、バクテリアポリエステルなどのバイオベースポリマー)
- ・生分解にともなうナノ構造・物性の変化(生分解性ポリマーの高性能化)
- ・生分解性ポリマーの改質や表面処理、他の材料との複合化による、高性能化・高機能化
- ・期限生分解性プラスチックの開発事例の紹介(海洋に投棄された時に生分解にスイッチが入る、という意味で生分解性開始スイッチ機能を有するプラスチック)

※この講座は職場や自宅のPCでオンライン会議アプリZoomを使って受講できます。受講方法は申込後にご連絡いたします。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

《プログラム》

1. プラスチックの環境対応技術概説
 - 1) 海洋流出の現状
 - 2) リサイクル、ゴミ発電
 - 3) バイオベースポリマー
(植物由来スーパーエンプラ、植物由来PETボトルなど)
 - 4) 農業分野での生分解性プラスチックの重要性
2. ポリマーの生分解プロセス
 - 1) 酵素分解と微生物分解(PETの酵素分解を含む)
 - 2) 自然環境中での分解の具体的な事例(海水中での分解を含む)
 - 3) 生分解評価法
3. 生分解性ポリマーの特徴
 - 1) 分子構造の特徴
 - 2) 具体的な生分解性ポリマー

a) ポリアミド4	b) ポリカプロラクトン
c) バクテリアポリエステル	d) その他のバイオベースポリマー
4. 生分解性ポリマーの高性能化・高機能化
 - 1) 生分解にともなうナノ構造・物性の変化
(生分解性ポリマーの高性能化)
 - 2) 改質や表面処理、他の材料との複合化
 - 3) 期限生分解性プラスチック
5. まとめ

【質疑応答】

『生分解性ポリマー』セミナー申込書 ※ご希望の受講形式どちらかにチェックを入れて下さい⇒ < ■LIVE ■アーカイブ >

会社・大学		
住 所	〒	
電話番号		FAX

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。 Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要事項をご明記の上、FAXしてください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的に受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧下さい。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧下さい。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>